

睡眠時無呼吸症候群 (SAS)

睡眠中に起きる問題として、プラキズムのほかに睡眠時無呼吸症候群(SAS)があります。夜寝ていても熟睡できず、日常生活に支障がでたり、低酸素となり生活習慣病を引き起こすと考えられています。

マウスピース
上下の歯を咬み合わせた、こすりあわせたところの歯がなくなってもその歯が残っていたりして義歯をこわしたり歯茎を傷つけてしまうことも!



〈歯科でできること〉

耳鼻科的な問題(扁桃腺の肥大)を抱えている場合のほか、体格的に肥満の人にこの症状を有する人が多いようです。歯科医院では問診ならびにあご口腔の診査を行います。

程度にもよりますが、軽度～中等度の場合には「歯科装具」としてマウスピースを歯科医院で作製できます。

こちらは就眠中のあごの後退と咽頭部の閉鎖を生じにくくするため装着するなどといったものがあります。



歯型を採取し作製するものです

まずは呼吸科などでSASの診断をしましょう!



また、マウスピースの装着後もSASが改善しているか定期的な検査も受けようね!

